

## 第3回 代表者研修会報告

日時：令和6年2月20日（火）14：00～

会場：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

司会：中村副会長

### 1 あいさつ

#### (1) 静岡県養護教諭研究会

鈴木 理香 会長

皆様こんにちは。本日はお忙しい中、御出席いただきありがとうございます。

様々な感染症が同時多発的に流行する中、児童生徒や年度末に向かう学校の対応にと、追われているのではないのでしょうか。

さて、今期は、コロナ禍からコロナ禍開けの運営を模索してきました。そんな中で、研究会のテーマである「子供たちの幸せのために学び続ける養護教諭」を目指して、取り組んでまいりました。

実践事例集18「養護教諭が行うICTの活用実践」については、コロナ禍を境に一変した学校のICT環境の中で、養護教諭がICTを活用することで得られる強みを身近な実践から学び、活用力を高めていこうと、会員の皆様からの事例を集め編集し、無事に発刊することができました。

さらに冬季研修会は、実践事例集18の活用を推進するため、監修者の静岡県総合教育センター 総務企画・ICT推進課 企画・ICT推進班に協力をお願いし、2会場分散の集合研修と一部をオンデマンド配信としたハイブリッド開催で実施しました。研修会には、集合、オンデマンド合わせて408人と、多くの皆様に参加していただくことができました。このような実施方法は、初めての試みであったため、役員も手探りの中で準備を進めていましたが、「2会場をオンラインで繋ぎ、その場にいるかのように研修を受けることができ、その準備や技術に感動した。」という感想もいただき、役員一同、報われた思いです。

また、冬季研修会の準備から実施期間にかけては、HPの予期せぬトラブルに見舞われました。復旧と障害を繰り返す状況となったため、度重なるメール連絡を行いました。理事の皆様には、快くその連絡にも御協力いただきましたことを、この場を借りてお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

この冬季研修会と、本年度の活動反省については、この後の協議の中で、報告をさせていただきます。

活動反省のまとめについても、会員の皆様からは、多くの御意見をいただいております。役員への労いの言葉とともに、変化する学校環境や執務の中で、今後の研究会の組織や運営に対する御意見もありました。貴重な御意見を真摯に受け止め、これからの研究会に生かしていきたいと思っております。

最後になりましたが、御多忙の中、静岡県教育委員会健康体育課 教育主幹 富田宏美

様、県学校保健会事務局長 櫻井信仁様、顧問校長 田中浩美様に御出席をいただいております。本日も御指導を、よろしくお願いいたします。

それでは、短い時間ではございますが、御協議の程よろしくお願いいたします。

## (2) 静岡県養護教諭研究会顧問校長

田中 浩美 校長

皆様こんにちは。2月も下旬を迎え、年度末の慌ただしさを感じています。養護教諭研究会の活動も総括の時期になりました。この1年、皆様と一緒に活動し様子を見させていただいて、とても勉強になりました。学校では見えないところで熱心に活動されていることも知り、有意義な学びとなりました。

活動においては、仕事の軽減になる取組も行われてきました。冬季研修会での新たなチャレンジは、素晴らしいものでした。新しいことに取り組む時には御苦労もあったと思いますが、「やってみよう。やってみる。」に繋がっていると思います。そのほか実態調査でも新たな試みをされると聞いています。

現在、多くの地区で、子供の数の減少による再編がされています。これから学校の在り方そのものが変わっていくのではないかと思います。学校では、働き方改革が進んでいますが、根本的なところの改善がなかなか進まないと感じており、変わっていくには、まだ時間がかかりそうです。

この研究会の活動も、更なる改善や工夫の必要が出てくるかもしれませんが、この1年「やってみよう」の気持ちで取り組んでこられましたので、これからも成果と課題を整理して、前に進んでいけると思います。本日もよろしくお願いいたします。

## (3) 静岡県教育委員会健康体育課健康食育班

富田 宏美 教育主幹

2月2日(金)文部科学省において、各都道府県・指定都市教育委員会学校保健担当者を対象とした「令和5年度学校保健全国連絡協議会」が行われました。

この連絡協議会では、午前中に来年度の文部科学省の事業説明があり、午後はグループ協議がありました。テーマは、「学校保健におけるICT活用」でした。保健管理、保健教育、保健組織活動におけるICT活用の事例を持ち寄り話し合いました。事前に研究会会長に許可を得て、今年度発刊された事例集18から事例を引用させていただき、グループ協議に参加しました。

グループワークで事例集の実物を同じグループの参加者に見せたところ、お褒めの言葉をいただいたので、いくつか紹介します。「欲しい情報がコンパクトにまとめられている」「ICT活用に苦手さがあっても「やってみよう」と思えるものである」「編集委員がやってみた！の視点が素晴らしい」「総合教育センターとの連携が素晴らしい」というお言葉でした。

事例集編集委員の皆様、事例を提供していただいた県内養護教諭の皆様に敬意を表するとともに、大変頼もしい研究会の皆様とともに養護教諭の資質の向上に関わることができていることを誇りに感じました。今後どうぞ、よろしくお願いいたします。

#### (4) 静岡県学校保健会

櫻井 信仁 事務局長

日頃より本会の事業に御理解・御協力をいただきありがとうございます。皆様に支えられ、今年度も無事に事業を進めることができました。感謝申し上げます。

新型コロナウイルスも、5月には2類相当から5類に移行し、学校生活も以前の姿に戻っているかと思えます。しかし、コロナ禍生活が長かったことによる後遺症が引き続き出ているという話も聞きます。学校は本当に忙しいところですし、これから年度末に向けて更にやらなければならないことが多くなってきます。なかなか気を抜けない時期ですので、皆様御自身の健康、そして児童生徒や教職員の方々の健康状況についても十分御配慮いただければと思います。今年度実施した事業について、いくつか報告させていただきます。

(※以下の数字は、令和5年度学校保健会事業報告の項目番号)

- 1 第62回静岡県学校保健研究大会 (開催地区：田方地区)
  - ・令和5年11月16日(木) 函南町文化センター 参加人数：379名
  - ・田方地区の養護教諭・保健主事の皆様、校長先生はじめ関係職員の皆様には大変お世話になりました。本当に充実した内容の素晴らしい大会になりました。
- 2 (1) 第45回中学校・高等学校生徒保健委員活動発表会 【オンライン開催】
  - ・令和5年12月25日(月)
  - ・参加校：5校(内、1校は誌上発表) 参加者：92名(内、一般聴講者 29名)
  - ・中学校では沼津市立大岡中学校が発表してくれました。興味深い取組、堂々とした発表で大変好評でした。
- (2) 第52回学校保健新聞コンクール
  - ・応募校数：23校
  - ・特選校7校の新聞は県養護教諭研究会のHPに掲載します。
- (4) 第74回関東甲信越静学校保健大会 【ハイブリッド開催】
  - ・令和5年8月3日(木) 埼玉県さいたま市 静岡県参加者：42名
  - ・三島市立中郷小学校 養護教諭 村田仁美 様が「校舎の長寿命化改修工事に伴う学校環境衛生活動」という内容で発表されました。
- (5) 令和5年度全国学校保健・安全研究大会
  - ・令和5年10月26日(木)・27日(金) 兵庫県神戸市
  - ・大会内で文部科学大臣表彰の表彰式があり、田中 公子 様(浜松市立豊西小学校長)、浜松市立豊西小学校、勝又 厚 様(御殿場小学校 学校医)が表彰されました。
- 3 専門部活動推進事業
  - ・学校歯科保健に関する調査、学校環境衛生活動に関する調査を今年度も実施しました。御協力ありがとうございました。
  - ・令和5年度学校歯科保健調査結果(静岡県歯科医師会)は、今年度から冊子による配付をやめ、静岡県学校保健会HPに掲載しています。(令和元年度～令和4年度も併せて掲載)
- 4 表彰に関する事業
  - ・学校保健功労者表彰(107名)・健康推進学校表彰(優秀校 1校、優良校 5校)・学校歯科保健優良学校表彰(優秀校 4校、優良校 15校)・学校環境衛生活動優良学校表彰(優良校 19校)を第62回静岡県学校保健研究大会内で表彰させていただきました。

静岡県予防医学協会と県学校保健会では、3月14日にグランシップの会議室で学校保健セミナーを開催します。後日御案内が届くと思いますが、参集型で行いますので

是非御参加ください。よろしくお願いいたします。

## 2 静岡県教育委員会所管事項

(資料 配付済み)

静岡県教育委員会健康体育課健康食育班

富田 宏美 教育主幹

### 1 保健管理より

※番号、ページは、所管事項資料のもの

#### (1) 感染症への対応

##### P 1 ①新型コロナウイルス感染症

- ・ R 6 第 4 週に定点医療機関あたりの患者数 19.14 人となり、県独自の感染拡大警報の基準を上回った。2月2日(金)には、「感染拡大警報」が発令された。
- ・ 第6週は、定点医療機関あたりの患者数 17.66 人と少し減少したが、「感染拡大警報」は継続中である。
- ・ 引き続き、学校や地域の感染状況に合わせた感染予防対策を行う。

##### P 6 ②インフルエンザ等

- ・ R 5 第 47 週から現在まで、警報レベルが維持されている。
- ・ R 6 第 6 週には、インフルエンザ B 型が A 型を大きく逆転した。(B 型 66.3%、A 型 33.7%)
- ・ 1 シーズンで複数回学級閉鎖を行う学級も出てきている。予防対策を継続する。

#### (2) 疾病管理 (現代的健康課題への対応)

##### P 6 ①児童生徒等の定期健康診断の実施

- ・ 令和 5 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による健康診断実施期間の延長措置があったが、令和 6 年度は措置を行わない。6 月 30 日までに確実に実施できるよう計画する。通知も出ないため注意する。
- ・ 健康診断票の校医の押印について、担当校医等の氏名を記入するよう、規定が改められた。「校医印省略」は認められないため、各地区とも市町と相談し、7 年度末までに対応する。本年度中に改めて通知が出される。

##### P 8 ③脳脊髄液減少症の理解と適切な対応

- ・ 「脳脊髄液減少症に対応可能な病院の一覧 (R 5、9 月現在)」(静岡県 HP 学校保健に関する資料) は、最新の情報に更新している。保護者に受診を勧める際に活用する。

### 2 保健教育より

#### (2) がん教育

##### P 9 ①第 3 次静岡県がん対策推進計画

- ・ 4 年度の学校保健計画への位置付けは 51.1%と、まだ低い。次年度に向け、がん教育の位置付けを確実にを行う。

P10 ⑤学校における外部講師を活用したがん教育の推進について

- ・ 2月20日付けで、政令市を除く市町に、文書を発出した。
- ・ 1月24日に「学校におけるがん教育の手引」を発出した。これを参考に、外部講師を活用したがん教育に取り組む。

3 その他より

P11 重症の低血糖発作時のグルカゴン点鼻粉末剤（バクスミー®）投与について

- ・ 重症の低血糖発作では、当該児童等が意識を失っていることも想定されるため、発生時に、教職員が連携して迅速・的確に対応するための体制作りや、教職員への研修も行う。

4 養護教諭・保健主事の資質向上（令和6年度の予定）より

健康指導者養成研修実施報告

- ・ 令和4年度分は、8月9日の養護教員講習会の中で行う。
- ・ 令和5年度分については、10月の学校健康教育指導者講習会の中で行う。

5 追加事項

児童生徒等のプライバシーや心情に配慮した健康診断実施のための環境整備について

- ・ 2月20日に発出した。
- ・ 県の医師会と協議をした内容。県医師会から各地区医師会へ周知される。学校では、この通知をもとに環境の整備を進める。

広域財団法人ライオン歯科衛生研究所 第81回全国小学生歯磨き大会

- ・ 申し込み2月29日まで（再周知）

3 議事

（資料 配付済み）

（1）令和5年度静岡県養護教諭研究会冬季研修会の反省

白鳥幹事

【会員の声】

～講演 養護教諭が行う ICT 実践、情報モラルについて～

- ・ 著作権や情報セキュリティについて、これまで学ぶ機会が少なかったため、勉強になった。
- ・ 理解しているつもりだったが、認識が不十分であったことに気付いた。
- ・ フリー素材の使用について、利用規約を確認してから使用することを、これまで以上に意識したい。
- ・ ICT に苦手意識があったが、具体的な例を示していただき、理解しやすかった。

～実技研修～

- ・ 端末を2人で使用することができ、充実した研修になった。

- ・是非今後の職務に生かしたい。
- ・参加者の経験値に合わせ、習熟度別に行えるとよかった。

～全体を通して～

- ・2会場に分かれての開催だったため、遠方からも参加しやすかった。

## (2) 令和5年度冬季研修会決算報告

伊藤会計

## (3) 令和5年度静岡県養護教諭研究会活動反省

各担当

### ア 令和4年度・5年度テーマ「子供たちの幸せのために学び続ける養護教諭」について

- ・ほとんど全員が、各地区・各校で研修を深め、実践に生かすことができた。

### イ 地区代表者研修会について

- ・100%の会員が、代表者研修会の内容を把握することができた。
- ・各地区理事が、きちんと伝達してくれたおかげである。

### ウ 調査研究について

- ・99.7%の会員から、参考になったとの回答があり、会員が、実態調査の結果を、保健室経営に生かしたり、地区ごとの実態把握に使ったりしてくれていることが分かった。
- ・今までの実態調査の積み上げは、大変貴重な財産である。継続したい。
- ・これからの時代に合った内容にしていきたい。
- ・内容の精選、発行回数などについて、具体的な意見もあった。
- ・現在、フォームを使用したアンケートに変更していくか検討中である。

### エ 実践事例集 18「養護教諭が行う ICT の活用実践」について

- ・編集内容について、好評価をいただいた。

#### 【会員の声】

- ・ICT活用にあたっての基本的な考え方について、参考になった。
- ・保健室でこんなにもたくさん活用できる場面があることが分かり、自分も挑戦したいと意欲がわいた。
- ・1ページ1事例の構成で簡潔にまとめられていて、よい。
- ・「編集委員がやってみた」のコーナーが、わかりやすかった。 など

※事例集に掲載したスプレッドシートなどをダウンロードできるとよいとの意見があったが、著作権の問題もあり、配付することは難しいことを理解いただきたい。

### オ 会誌「たちばな 66号」について

- ・編集内容について、概ねよいとの回答を得た。

- ・参考になったこととしては、保健室紹介や「令和4年度台風15号の被害から学ぶ」が多かった。

#### 【会員の声】

- ・「令和4年台風15号の被害から学ぶ」では、被害に遭われた大変な中で情報を提供していただき、ありがたかった。日頃から備えておくことの重要性を感じた。
- ・保健室紹介を継続してほしい。可能であれば紹介する数を増やしてほしい。
- ・各地区で招いた講師のリストや内容を知りたい。
- ・社会的に大きな出来事があれば、その内容を取り上げてほしい。 など

#### 【スリム化について】

- ・「現状でよい」という意見と「スリム化したい」という意見のどちらもあった。
- ・掲載内容の精選やHPへの移行などについて、検討していきたい。

#### カ 静岡県養護教諭研究会のホームページについて

- ・アクセスしたことがある会員が、昨年と比べ大幅に増えた。
- ・内容について、概ねよいという回答を得た。
- ・よく見るページでは、保健室訪問・掲示物、事業内容、知っ得情報、会報「きんもくせい」などが多かった。会員限定ページの閲覧者も増えている。

#### 【会員の声】

- ・年々見やすくなっている。
- ・情報の収集ができています。
- ・たちばなやメールでのお知らせと重複する部分については、HPに掲載するようにすれば、もっと活用できるのではないか。→ ※今後検討していきたい。

#### キ 会報「きんもくせい」について

- ・多くの会員から、発行ごとに読んだ、会員の相互理解に役立ち、情報等参考になったとの回答を得た。
- ・内容への要望として、他地区の研修内容をもう少し詳細に載せてほしいとの意見があった。
- ・今後の在り方については、データでの配付をやめてHPに掲載するだけにしてはどうか、発行回数をさらに減らす、どうしても知らせたい内容があるときのみ発行する、発行が必要か見直しをしてほしいなどの意見が挙がった。今後の参考にする。

#### ケ 養護教諭に関することで、今一番関心のあることや研修したい内容

- ・上位は、救急処置及び救急体制に関すること、ICTの活用、メンタルヘルス、性に関する指導であった。今後の夏季研修会、冬季研修会の講師、事例集のテーマの参考にする。

## ケ その他

### 【夏季研修会、冬季研修会について】

- ・開催の形態を、オンライン、ハイブリッド、オンデマンド形式で行ってほしいとの意見が多数挙がったが、参集、対面形式がよいという意見もあった。研修内容に合わせて形態を変える、隔年にするなど具体的な意見もあった。
- ・夏季研修会は、県教育委員会との同日開催のため、研究会の判断では変更できない。冬季研修会開催の参考にしていきたい。

### 【研究会の活動内容、役員の仕事について】

- ・活動内容の精選やスリム化など、組織を見直す時期だと思う。役員の仕事内容の軽減、精選を。という意見が多数あった。
- ・スリム化についての検討委員会を設けるのはどうかという新たな意見もあったので、検討の材料としたい。

## (3) 各委員会から

### ① たちばな編集委員会より

中村委員長

- ・メールを活用し、少しずつ編集委員会の回数を減らすことができている。
- ・全体を通して役割分担をし、各担当が責任を持って作業を進めることができた。
- ・実態調査の掲載をグラフと考察のみとし、まとめと今後の課題をカットした。次年度もこの形で進めたい。
- ・中表紙の挿絵は、イラスト以外も可とし、66号は温かみのある写真とコメントで好評を得た。
- ・地区の様子は、今後、本年度66号の書き方を参考に、作成してほしい。
- ・役員が企画するページについては、減らしていきたい。

### 【依頼】

#### ※各種研究論文受賞者の調査（研究のあしあとに掲載）

後日、事務局よりメールで依頼する。

各地区理事は、3月22日までに委員長（中村）宛に報告する。

### ② 実践事例集編集委員会より

山村委員長

- ・昨年度から構想、編集作業を行い、本年度は5回の編集委員会を経て、事例集18を発刊した。
- ・提供していただいた事例や、昨年度実施したICT活用に関するアンケートの結果をまとめた事例集を発行することができた。
- ・編集作業において、クラウドサービスやWEB会議を活用し、効率的に進めた。
- ・印刷業者の変更があったが、要望に柔軟に対応していただき作業ができた。
- ・冬季研修会では、事例集18を活用した有意義な研修を行うことができた。
- ・事例を掲載するにあたり、今回学ばせていただいた著作物を扱う際の確認を丁寧に



行う必要がある。

### ③ 調査研究委員会より

中島委員長

#### 【実態調査フォームテストについて】

- ・テストの実施に協力いただき、感謝している。
- ・会員より、フォームでの回答を希望するとの声が挙がっていたため、研究会や調査研究委員会で検討を重ねてきた。本年度、テストができたことは大変意味のあることである。これから検証し、来年度末には、エクセル版かフォームでの入力か決定していきたい。

～現段階で分かったデメリット～

- ・質問数が多いため、途中で疲れてしまったり、来室者があつたりして、集中して回答できない。
- ・送信ボタンを押してログアウトした後、ミスに気付いた場合、回答データが残っていないため、始めから入力し直す必要がある。
- ・選択肢のどれにも当てはまらない例外が発生した場合、次の質問に進むことができない。

～現段階で分かったメリット～

- ・回答データを送るのに、送信ボタンを押すだけであるため、メールよりも楽に送ることができる。

※会員が正確に回答ができ、集まった回答が信頼性を維持できるものかという点を最優先に考えていく。

※取りまとめをする地区理事の負担軽減、調査研究委員のチェックの負担軽減も考慮しながら、検討を進めていく。

#### 【令和5年度末養護教諭にかかわる実態調査について】 ※地区理事への連絡

- ・データは、志太地区へはCDで配付し、その他の地区へは事務局からメールで送信する。
- ・各地区の実情に応じて、マクロあり・なしのどちらかを選択する。
- ・基本調査Ⅱは、3月1日現在の勤務者が回答する。
- ・2月22日に事務局からデータを受け取った後、各地区で締め切りを決めて、会員へ送信する。会員が回答した後、地区理事が取りまとめをし、3月14日（木）までに委員長（中島）へ送る。
- ・地区の集計の方法は、パワーポイント資料を参考にする。

### ④ ホームページ編集委員会より

土屋副委員長

- ・今年度は計画通り5回実施し、夏季研修会、冬季研修会の報告書の作成をした。
- ・別紙資料に記載あるものをアップした。
- ・5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、研修会案内も多くなった。

- ・保健室訪問では、12校が掲示物や保健室紹介の資料を提供していただいた。
- ・冬季研修会直前に、ホームページの不具合により、資料のダウンロードやオンデマンド配信の方法を急遽変更することとなり、会員の皆様に御心配をおかけしてしまったことをお詫びする。現在は復旧し問題なく見ることができている。
- ・会報「きんもくせい」にホームページのQRコードを載せたり、会誌「たちばな」にホームページ活用術を載せたりして、ホームページの周知に努めた。
- ・スマートフォンからもメニューを探しやすくするため、レイアウトを変更した。
- ・今後は、会誌「たちばな」との掲載内容の重複の精選や、会員限定ページの掲載内容について検討していく。
- ・情報化が進み、よりホームページが重要な役割を果たしていくと思われるため、専門のICTアドバイザーや、一部業者に委託する等、検討を重ねていく。

#### ⑤ 組織検討委員会より (資料なし)

出口委員長

- ・静岡市、浜松市の両政令市の加入情勢に変化がなかったため、委員会は開催していない。令和6年については、両市から加入継続の報告を頂いている。

#### ⑥ 役員選出委員会より

道上委員長

- ・幹事については、6名の選出を予定していたが、静西地区からの2人目の選出が困難になったため、今期同様1名減として提案する。(会則第6条に、幹事若干名とあり人数の明記がないことを受けて)

※採決の結果、挙手多数により承認となった。

- ・副会長、会長を担う40代後半の会員がどの地区にも少なく、役員選出が大変困難になっている。課題を引き継いでいく。

## 4 連絡・報告事項

### (1) 令和6年度会員名簿の作成について

土屋書記

- ・作成は名簿Aの流れにそって進めていただく。
- ・来年度の名簿担当が決まったら、事務局より本年度の理事に①②③のデータを配付する。
- ・会員名簿Bについては、提出日・提出先を記入し会員に配布する。

#### 【依頼】

- ・令和6年度の地区名簿担当者への引き継ぎはパスワードを含め確実にお願いしたい。
- ・令和5年度の地区名簿担当者が作成した名簿は年度末に削除をお願いしたい。
- ・令和6年度の地区名簿作成担当者は3月25日(月)から4月5日(金)に令和6年度名簿担当にメールを送信する。確認ができてから名簿作成に進めていく。

#### 【会員数】

- ・令和5年9月1日より会員数の変更はない。

(2) 会報「きんもくせい」について(資料なし)

土屋書記

- ・今年度計画していた4号の発行ができた。

(3) 令和6年度理事氏名の報告・理事依頼事項について

鈴木久事務局

- ・令和6年度の地区理事の報告を令和6.7年度事務局へ3月22日までにメールで報告をお願いしたい。
- ・依頼事項について一覧を作成したので、確認をお願いしたい。一覧のNO. 1. 2. 4は2月22日、NO. 3は別日に、事務局より送信する。

(4) 各地区から

- ・内科検診時の着衣について、校医によって考えが違うため難しい。  
→文科省・県教委から文書を出している。各校で学校医と相談してほしい。(県教委)

(5) その他

ア 令和6年度能登半島地震における支援について

鈴木理事長

- ・静岡県養護教諭研究会から北陸4県（石川県・富山県・新潟県・福井県）の養護教諭研究会へお見舞いの連絡をした。静岡大学小林朋子教授から了解を頂き資料の情報提供を伝えた。
- ・石川県養護教育研究会のホームページには、全国から寄せられた資料の情報が載せられている。
- ・様々な機関と連携すること、安定したホームページの運用をしていくこと等を今後の課題として引き継いでいきたい。

イ 全国養護教諭連絡協議会 令和6年度職務に関する調査について 鈴木理事長

- ・Web 調査
- ・令和6年3月下旬発行の会報に養護教諭の職務に関する調査の依頼と調査内容についての情報が掲載される。
- ・6月下旬に県の養護教諭研究会に依頼が届き7月に調査実施予定。  
内容 令和5年度 相談・保健室と別室登校・児童虐待・いじめ・特別支援教育・食物アレルギー対応  
対象 令和5、6年度勤務の会員（対象外の会員あり）

ウ 全国養護教諭連絡協議会第29回研究協議会について

鈴木久事務局

令和6年度第1回代表者研修会で紙面報告

エ 退職養護教諭会（みどり会）について

みどり会 鈴木様

- ・9月に総会を実施した。現職の研究会の皆さんの動き、県教育委員会との連携・御指導御助言は、OGの私たちにとって本当に貴重なものである。これからも、繋がりを大事にしていきたい。
- ・私たちが現職時代に様々な場面での仲間づくりや支え合い等が、本県の養護教諭の力となり、全国的にも大変優れた組織となっている。

- ・会員の中には、放課後デイ教室の支援員、児童民生委員等、地域や学校の様々な場で活動している。
- ・ここ数年、会員の減少が課題となっている。
- ・令和6年度総会は、9月22日(日)に静岡県教育会館を予定している。

オ 研修報告 全国学校保健安全研究大会(紙面報告)

中村副会長